



平田のみんなの情報誌

ひらたから



ちびっこザウルスになりきって踊りました。
(10月28日(木) つどいの広場すずかけっこ)

No.78
2021.12

今、自治会に必要なことは何か？

10月21日（木）、自治会連合会とまちづくり協議会の合同研修会が平田コミュニティセンターで開催されました。

今回の研修会では、時代の変化に対応する自治会運営をテーマとして、市作成の「自治会運営のヒント集」を使って、日頃の困りごとや今後の見直し項目等について意見交換を行いました。



青少年育成会

地元職人さんに学ぶ

10月23日（土）、「地元の職人さんから学ぼう」が開催されました。平田地区で活躍されている職人さんの中から今回は、大工さんと畳屋さんを講師に招き、日頃のお仕事を体験させていただきました。

大工体験は、椅子花台、畳屋体験は、ミニ畳を作りました。初めて使う道具など悪戦苦闘しましたが、参加者全員作品を作り上げることができました。

作品完成後、大人も交じり鉋(かな)を使って木を削る体験をしました。なかなか難しくこちらは、大人の方が熱心に取り組んでいました。



平田コミュニティセンター

館長杯ゲートボール大会開催

11月4日（木）お天気に恵まれ、館長杯ゲートボール大会が上平木町草の根広場で開催されました。5チームが参加。優勝は上平木Aチーム、準優勝は市辺チーム、3位は上平木Bチームという結果でした。



つどいの広場「すずかけっこ」

元気いっぱい!!

10月28日(木)、運動あそびが開催されました。

今年もイベントは、2部制で行っています。「運動あそび」も2部制合わせて28人の親子が参加してくれました。

秋のくだものを拾って集めるレースや大型遊具でからだを使うレースなど子どもたちは元気いっぱい楽しんでいました。



ダンスは、ちびっこザウルスのお面をかぶり、とっても可愛い姿を見せてくれました。最後にメダルやプレゼントを持ってうれしそうに帰って行ってくれました。

また、ひろば前の廊下には、1年の活動様子を見てもらえるよう写真展示も実施しました。



平田地区文化祭

日頃の学習活動の成果を展示

11月4日(木)～7日(日)、令和3年度平田地区文化祭が平田コミュニティセンターにて開催されました。新型コロナウイルス感染予防のため、今年も作品展示のみの開催となりましたが、4日間で延べ384人の来館者が熱心に作品を鑑賞されていました。展示ホールでは、竹細工や草木染、書道、生花の各サークル作品や小・中学校、養護学校、あかね幼稚園、ゆいの杜から子どもたちの絵や習字等、防犯自治会の防犯ポスター、その他一

般募集作品も数多く展示されました。また、ロビーに置かれた大画面テレビで、和太鼓、よし笛の発表風景などが鑑賞できました。実行委員会の皆さんには、準備から片付け、4日間の受付など本当にありがとうございました。



お知らせ

お問い合わせは平田コミュニティセンター (☎0748-22-1950) まで
地域子育て支援拠点 つどいの広場

☆おはなし広場☆

「すずかけっこ」

日時 12月2日(木)11:30~12:00

コミュニティセンターに移動図書館がきます。

司書さんの絵本の読み聞かせや本の貸し出しがあります。

☆クリスマス会&みぞっちといっしょ☆

日時 12月8日(水) 2部制 子ども各部10人(予約制) 大ホール

1部:10:00~11:00 2部:11:00~12:00

みぞえさんと一緒に親子で楽しみましょう!!サンタさんが来るかも!

☆ほっとの日☆(子育て相談日)

日時 12月17日(金) 11:00~12:00 6組(予約制)

子育てコンシェルジュがきて、手あそびをしてくださった後、子育て相談にのってくださいます。子育て相談の事前予約も可能です。

☆年末年始のお休み☆

2021年12月28日(火)~2022年1月4日(火)

年明けは1月5日(水)から始まります。

※詳しくは、つどいの広場すずかけっこまで、お問い合わせください。

※予約制のイベントは定員になり次第締め切ります。

イベント日の午前中は、ご予約いただいた方のみご利用できます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、急遽中止になる場合がございます。

ご了承ください。



防犯自治会 地域安全ポスター入賞者

夏休みに書いてもらった地域安全ポスター入賞作品が決まりました。平田地区からは3人の小学生の作品が選ばれました。

最優秀賞 福島 虹 さん

優秀賞 藤田 愛梨さん

佳作 小澤 清之介さん

◇編集後記◇

秋が深まるにつれ空の青さに気づきます。見上げてみると藍色の空間が無限に続くように思えます。ふとこんな言葉を思い出しました。井の中の蛙、大海を知らず、これは身の回りのことだけに関心を持ち広い視野で物事を見ないことを言いますが、誰が言ったのか続きがあります。されど空の青さ(深さ)を知る。これは特定分野を深く掘り下げて探求する姿勢とも言えます。現在の井の中の蛙は宇宙空間に浮かぶ多くの人工衛星に止まらず広がる宇宙の果てまで想像しているのかもしれない。

私たちが身の回りだけでなく何事も幅広い視野で見なければならぬのではと思う反面、自分の足元である地域のことを深く知っているかという自信がありません。例えば身

近にある雪野山や多数ある古墳について探求している人はどれくらいいるのでしょうか。古墳への関心は悠久の歴史のロマンに浸るだけでなく日本各地に広がる歴史遺跡との関連や古代の人の往来、そして私たちの祖先へとつながるなど様々な想像へと広がります。

また、隣人や近所の出来事に関心を持つこと、さらに小さな子供やお年寄りに寄り添う思いやる気持ちは地域社会だけで止まらず日本だけでなく世界の人々の普遍の人権を認め合うことにも繋がっていきます。足元の小さな世界が大きく広がるのです。まちづくり協議会の事業は多くのきっかけを皆さんに提供しています。広報紙ひらたからを読んでいただき興味のある事業にはぜひ参加してください。

(紅葉童子)